

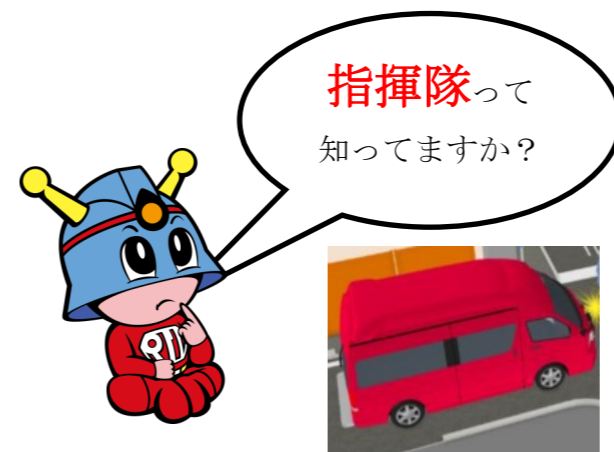
令和5年度 はしご小隊・指揮隊 消防活動技術訓練効果確認を実施

7月14日、荏原消防署では、はしご小隊及び指揮隊消防活動技術訓練効果確認を実施しました。これは消防隊の日頃の訓練の成果を署長が確認するもので、各部（1部・2部・3部）の大隊長指揮の下、それぞれの指揮隊・はしご小隊が、訓練の成果を披露しました。

今回の効果確認は、5階建てビルの3階から出火し、隣りの3階建て住宅に延焼し、複数の逃げ遅れ者が発生する想定で実施しました。当日はあいにくの大雨の中にもかかわらず、各隊とも士気旺盛な活動を披露し、日頃の訓練の成果を十分に発揮しました。



現場指揮板を前に、指揮を執る大隊長と指揮隊員



火事があると、ポンプ車が8台、救助車が1台、はしご車が1台、救急車が1台、合計10台以上の車両が出場します。現場には、多くの部隊が活動するため、その部隊を統率するため、指揮隊長（大隊長等）を乗せた指揮隊車が1台出場します。



建物屋上の要救助者の救出に向かうはしご小隊